

研究課題名：	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の臨床的特徴に関する後方視的研究
所属(診療科等)：	公立昭和病院 感染管理部・感染制御チーム
研究責任者(職名)：	小田 智三（感染症科部長）
研究期間：	2021年2月15日～2023年3月31日
研究目的と意義：	<p>2019年12月、中華人民共和国の湖北省武漢市からの報告に端を発した新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の感染は世界中に拡大しパンデミックの最中にある。日本でも2020年1月に感染者が確認され、以降国内における患者数の増加が続いている。</p> <p>第二種感染症指定医療機関であり6床の感染症病床を有する当院においても、2020年2月のダイヤモンドプリンセス号におけるCOVID-19陽性患者の受け入れに始まり多数の入院症例を経験しており、当院での入院症例を後方視的に解析し、COVID-19の臨床像を明らかにする。</p>
研究内容：	<p>●対象となる患者さん 2020年2月以降に当院に24時間以上入院され治療ないし経過観察されたCOVID-19陽性の患者さん。</p> <p>●利用するカルテ情報 診断名、身体所見、検査結果、診療についての記録等</p> <p>●研究方法 すでに治療を終了した方のカルテ情報を用いて、情報を収集し、重症度別の患者背景、重症化のリスク因子を確認する。</p> <p>●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院</p>
問い合わせ先：	<p>【研究担当者】 氏名：和田 祥枝（血液内科医師） 住所：小平市花小金井8丁目1番1号 電話：042（461）0052（代表） FAX：042（464）7912</p> <p>【ご意見・相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 総務課 042（461）0052 内線 2247 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>